

平成19年度 教育委員会 改革マニフェスト 自己検証シート

1) 目標と成果

マニフェスト	項目名 (担当部署)	集中改革プラン 項目	取り組み内容	区分	成果指標			活動指標			活動指標			自己評価	
					H17	H18	H19	H17	H18	H19	H17	H18	H19		
1	給食業務の施設再編の改革 (学校教育課)	26-3	学校給食について、地産地消等を積極的に活用しサービスの水準を維持するとともに、金井・真野の学校給食センター及び新穂地区3校の給食室を、国仲学校給食センターの建設により平成20年3月までに1施設に統合を図ります。	指標名	小中学校単独調理場数			小中学校単独調理場調理員数						D	
				指標の算式等											
				目標(A)			18			47人					
				実績(B)		21	21		52人	47人					
				(A)と(B)の比較			3			0人					
				指標名	学校給食センター数			学校給食センター調理員数						D	
				指標の算式等											
				目標(A)			6			48人					
実績(B)		7	7		46人	48人									
(A)と(B)の比較			1			0人									
2	学区再編と学校統合の推進の改革 (学校教育課)	26-1	前期統合計画対象12学区で説明会を開催し、義務教育水準の維持向上のため、適正な学校規模と通学距離、地域性等を勘案して、小中学校の統合を進めます。	指標名	小中学校数			小中学校統合説明会回数						A	
				指標の算式等											
				目標(A)			50校			30回					
				実績(B)		54校	50校		21回	39回					
(A)と(B)の比較			0校			9回									
3	施設間の連携強化と整理合理化の検討 (生涯学習課)	27-3	各体育施設の未利用機器の活用を図るとともに、施設設備の工夫整理を行い、トレーニング室利用者の増員及び健康増進を目指します。	指標名	トレーニング室利用者数			トレーニング教室						D	
				指標の算式等											
				目標(A)			14,600人			16回					
				実績(B)		13,912人	14,921人			16回					
(A)と(B)の比較			321人			0回									
4	世界文化遺産の推進 (世界遺産・文化振興課)	51-3	世界文化遺産への登録に向けては、市民の理解と協力が不可欠であり、また、市民の盛り上がりも重要な要素でありますので、今年度は昨年以上にシンポジウムや地元説明会等を開催し、世界遺産について多くの市民に啓発を図ります。	指標名	世界文化遺産シンポジウム参加者数			世界遺産シンポジウム開催総事業費						A	
				指標の算式等											
				目標(A)			2,000人			1,250千円					
				実績(B)		450人	2,370人		200千円	1,250千円					
				(A)と(B)の比較			370人			0千円					
				指標名	世界文化遺産講演会参加者数			世界遺産講演会開催総事業費						B	
				指標の算式等											
				目標(A)			900人			50千円					
				実績(B)		350人	990人		300千円	50千円					
				(A)と(B)の比較			90人			0千円					
				指標名	世界文化遺産地元説明会参加者数			世界遺産地元説明会等実施回数						A	
				指標の算式等											
目標(A)			600人			20回									
実績(B)		200人	667人		10回	10回									
(A)と(B)の比較			67人			10回									
5	博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し (世界遺産・文化振興課)	5-1 5-3	博物館・資料館の使用料、料金区分、団体割引及び減免基準については、それぞれの施設規模や整備当時の状況により定め、運営してきたところですが、設定基準の見直しを行い使用料等の統一を図ります。	指標名	博物館・資料館使用料総額			検討会(博物館協議会・担当者会議)の回数						C	
				指標の算式等											
				目標(A)			千円			4回					
				実績(B)		千円	28553千円		回	7回					
(A)と(B)の比較			28553千円			3回									

平成19年度 教育委員会 改革マニフェスト 自己検証シート

2) 取組過程と取組み後の対応

区分	チェック項目	自己評価	自己評価について(所見)
取組過程	取組みの段階において市民への説明やPRを十分に行ったか。また市民からの質問に対応する方法や体制が確立されていたか。	C	<p>給食業務の施設再編の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇談会を組織し3回開催し(計4回開催予定)安心安全の給食づくりの検討をし、その内容について保護者へ文書報告しました。 学区再編と学校統合の推進の改革 前期統合の地区に関して、学区ごとに地元説明に入り、市民や保護者との話し合いをしました。 <p>○体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> マシントレーニング利用者数の増員及び健康増進を目指すために、両津総合体育館・スポーツハウスの紹介並びにトレーニングルームの器具等の紹介を広報した。 トレーニング教室を開催しトレーニングマシンの利用方法について紹介した。 意見箱の設置により利用者の意見を収集し対応した。 <p>世界文化遺産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> シンポジウムや講演会、説明会の開催にあたり、市報さどを始め回覧板、チラシの配布やマスメディアを通じて、周知にあたった。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し 博物館・資料館の使用料、料金区分や減免基準の見直しのため、市民への説明は実施しなかった。
	目標達成に向けた部局内の体制は効果に対し相応な対応であり、かつ万全であったか。(過剰な活動や予算、人員による取組みがなかったか。)	C	<p>給食業務の施設再編の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 課内一丸となって取り組みました。 学区再編と学校統合の推進の改革 最少人数で、各支所、各事務所の応援を得て取り組みました。 <p>○体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・体力づくりに向けての活動であり、課内一丸となって取り組んだ。 施設の担当者による検討会を重ねた。 他の施設から未使用機器の管理替えを行い機器の充実を図った。 <p>世界文化遺産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録に向けての活動であり、課内一丸となって取り組んだ。 博物館資料館の使用料等及び減免基準の見直し 施設の担当者による検討会を重ねた。
	部局長のリーダーシップのもと、目標達成に向けた所管職員の意識啓蒙や部局内の風土づくりが行われたか。	C	<p>給食業務の施設再編の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 次長等のリーダーシップのもと課内での十分な検討協議の上、取り組みました。 学区再編と学校統合の推進の改革 各地区の説明会毎に課内での十分な検討協議の上、取り組みました。 <p>○体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標に向けた職員の意識改革を図り、広報活動も事前打合せを行った。 世界文化遺産の推進 広報活動のあり方等について、次長から助言がありそれに基づいて対応した。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し 施設担当者には十分な目標意識があり、自主的に取り組んだ。
	所管職員が佐渡市行政改革マニフェストの趣旨と内容を十分に理解し、目標の達成に向けて精力的に取り組んでいたか。	C	<p>給食業務の施設再編の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> マニフェストの趣旨を十分理解して取り組みました。 学区再編と学校統合の推進の改革 マニフェストの趣旨を十分理解し、小中学校統合計画にそって、市民に理解が得られるよう取り組みました。 <p>世界文化遺産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録について、広く市民に知って貰うためのマニフェストであることを十分に理解をし、精力的に取り組んだ。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し 使用料等や減免基準の統一化の必要性を十分理解し、取り組んだ。
	目標達成のための行程管理や関係機関等との調整が適切に行われていたか。	B	<p>給食業務の施設再編の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> センター建設で建築喜寿運法の改正により確認申請審査が遅れ、期限内完成が出来ず敗勢20年度途中のスタートとなる見込みです。 学区再編と学校統合の推進の改革 まずは、地区民および保護者の理解を得るべく全力で取り組んだ。 <p>○体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育指導委員及びスポーツ指導員によるトレーニング教室を開催し、体育館とトレーニングルームを利用した健康づくりに取り組んだ。 世界文化遺産の推進 シンポジウム等の開催にあたり、新潟県や佐渡を世界遺産にする会、古道を守る会等と連絡を密にし、実施した。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し 博物館協議会に諮問し、検討を願った。
	目標の達成に対する効果(アウトカム)の把握、または把握することの手立てをしたか。	C	<p>給食業務の施設再編の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> センター施設完成と安心安全の給食づくりのマニュアルづくりが目標と考えています。 学区再編と学校統合の推進の改革 前期統合は、複式学級解消を第一に統合を進めることが目標と考えています。 <p>○体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設間の連携強化と整理合理化の検討を行なった。 世界文化遺産の推進 行っていない。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し 行っていない。

平成19年度 教育委員会 改革マニフェスト 自己検証シート

取組み後の対応	<p>目標を達成していない項目については、具体的な改善策を計画し、または他の手段により対応したか。</p>	C	<p>給食業務の施設再編の改革 ・センターが期限内完成が無理なので、そのための対応策を検討中です。 学区再編と学校統合の推進の改革 ・目標を達成しました。 ○体育施設 ・今年度の目標は達成したと考える。 世界文化遺産の推進 ・目標は達成 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し ・目標は達成</p>
	<p>実績と今後の対応について市民に説明を行ったか。</p>	D	<p>給食業務の施設再編の改革 ・センター工事の状況について、今後保護者等に対しても含めて詳しく報告する予定です。 学区再編と学校統合の推進の改革 ・統合決定後、地区住民に説明会を開催しました。 体育施設 ・説明等はしていない 世界文化遺産の推進 ・説明は行っていない。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し ・説明は行っていない。</p>
	<p>取り組みの過程と実績、課題点などについて部局内で話し合わせ、所管職員が状況を理解しているか。</p>	C	<p>給食業務の施設再編の改革 ・定期的に協議の場を持ち、問題点等課内協議をしています。 学区再編と学校統合の推進の改革 ・課内協議を十分にし共通認識を持って統合に取り組んでいます。 体育施設 ・施設の設定が異なるためそれぞれの特徴を生かした利用方法の検討している。 世界文化遺産の推進 ・シンポジウム等の開催について、市民への周知が不十分であったことなどから広報活動のあり方を検討している。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し ・平成20年度において、博物館・資料館のあり方(統廃合を含めた)について検討する。</p>
	<p>実績に対する市民の質問や要望に対応する方法を確立したか。</p>	D	<p>給食業務の施設再編の改革 ・どのようなことがあるのか、今後対応方法を検討します。 学区再編と学校統合の推進の改革 ・学校を経由するか、直接連絡をもらうことで対応する予定です。 世界文化遺産の推進 ・行ってない。 博物館・資料館の使用料等及び減免基準の見直し ・博物館や資料館毎の使用料の統一を図ることができなかった理由などの対応は確立している。</p>

3) 総評

今年度の取組みに対する部局長のコメント	
<p>マニフェストに掲げた全ての項目について目標を一部達成することができましたが全体の成果としては低い評価となっています。又、当初経験の少ないスタッフであることが気がかりでしたが結果としてでているようです。部の重点項目については全員が十分その重要性を認識し、情報を共有すると共に一致団結して取り組むことにより今後良い結果がでるのではないかと期待するものであります。</p>	
<p>【良かった点】 ○体育施設 ・未利用機器を活用し、トレーニング機器の充実が図ることができた。 ・従来の教室に加え、新規に教室を開催し利用者の増員につながった。 ○世界文化遺産の推進 ・前回の申請での3項目の課題については、専門家の指導、助言により、内容のあるものになった。</p> <p>【悪かった点】 ○給食業務・体育施設・世界遺産文化の推進 ・実績に対する市民の質問や要望に対応する方法が今後の課題となっている。 ○世界文化遺産の推進 ・遺産登録に向けた各種の情報提供など行ったが全島的な盛り上げにいたらなかった。</p>	